



# 明化の教育

9月号(第492号)  
令和3年9月6日  
文京区立明化小学校  
校長 熊倉 勝

## 「ARIGATO」の気持ちを

校長 熊倉 勝



図工の作品コンクールで、多くの入賞者を出すことができました。子供たちの頑張りに拍手です。

新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大により、様々な制限がありました。子供たちにとっていつもとは違った特別な夏休みになったことでしょう。特別な夏休みと言えば、今年は、東京2020オリンピック・パラリンピックが行われました。一生に一度あるかないかと言われる地元東京で開催されたオリンピック・パラリンピックを、家庭で十分満喫することができた人も多かったのではないかと思います。

熱戦を繰り広げた世界各国の素晴らしいアスリートが活躍する姿から大きな勇気と感動をいただきました。また、現在開催されているパラリンピックでは、逆境に負けず、生き生きと自信をもって競技に臨むアスリートの姿から、努力をす

ることの尊さや人間の可能性の大きさを感じています。

そんな中、印象に残っている場面がオリンピックの閉会式にありました。ARIGATO。オリンピック閉会式のフィナーレ、数多くの力強い花火が打ち上げられた後に、LEDビジョンに現れたこの言葉。コロナ禍の今、まさに大切にすべき言葉なのではないかと思えたのです。この演出は、オリンピックが開催されたことを世界に向けて感謝する意味が込められていたのでしょうか。さらに、メダルを獲得した選手から口々に感謝の言葉が発せられたことにも心を打たれました。「これまで支えてくれた人たちに感謝したい。」「オリンピックの舞台を作ってくれた人たちに感謝したい。」努力に努力を重ね、夢を勝ち取った人が、驕ることなく、素直な気持ちで話しているだけに重みがあり、聞いている側も心地よさを感じ取ることができました。

この「ありがとう」は、五文字という大変短い言葉です。一秒の言葉とも言われていますが、この短い言葉は、その言葉を言った人の心も、その言葉を送られた人の心も温かくします。また、「ありがとう」の一言が、人々に勇気を届けます。「ありがとう」の一言が社会を明るくします。「ありがとう」の一言で、人と人のつながりを大事にすることができます。とても素敵な言葉「ありがとう」を交わすことが、コロナ禍を乗り越えるきっかけになるのではないかと心を強くしました。

さて、2学期が始まりました。新型コロナウイルスが猛威を振るい、不安が多く暗くなりがちな日常の中、明化小学校に子供たちの元気な笑顔あふれる姿が戻ってきました。このような元気な子供たちに会えたことに感謝しつつ、感染症対策を徹底して、子供たちが安全に安心して学ぶことができるように教職員一同、力を合わせて教育活動を進めてまいります。今学期も本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。